

38 トビハゼ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:A

Periophthalmus modestus

環境省ランク:NT

種の概要

全長10 c m程度。大きな目が上方に突き出ており、カエル類を思わせる顔つきをしている。内湾や河口の泥干潟に生息する。胸鰭を使って干潟の表面をはい回ることができ、干潟の泥の上にいる小動物を食べる。陸上では湿った体で皮膚呼吸を行う。冬場は掘った穴の中で過ごす。国内では東京湾から南西諸島、瀬戸内海、有明海に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内での生息は瀬戸内海側の数河川に限られ、河口干潟や前浜干潟に生息する。

保護上の留意点

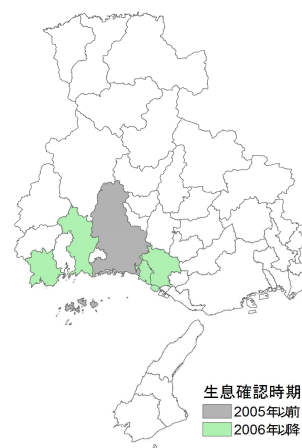
本種は干潟に生息するほかのハゼ類と比較して、地盤高の高い塩性湿地や干潟に生息する。このような環境は護岸整備や埋め立ての影響を真っ先に受けやすく、留意が必要である。

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市、たつの市

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励